

授業科目	教育における ICT 活用				単位	1		
履 修	選択	関連資格	栄教一種免		ナンバリング	NT14109J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP4-2			
担当教員	太田 かおり、塚本 美紀							
授業概要	教育現場における ICT(情報通信技術)の活用について、その歴史的経緯、現状、今後の方向性を理解する。授業における生徒および教員による ICT 活用の他、授業の準備、学習評価に関する活用、公務に置ける活用や教育データの活用を取り上げる。また、情報社会を生きていくための資質・能力である情報活用能力について、その構成要素および具体的な指導法、教育課程上の位置づけについて解説する。本科目では、講義および視聴覚資料による解説・事例紹介と、学生自身が各種 ICT 機器、環境を活用し、体験的に学修する機会を設けることを基本とする。							
学生が達成すべき行動目標	『教育における ICT 活用』では、ICT を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方ならびに生徒に情報活用能力および情報モラルを育成するための指導法に関する基礎的な知識・技能を身につけることを目指す。さらに、教育における情報化の過去・現在・未来について理解を深める。当科目の達成目標は、以下の 3 つである。 (1) 教育現場における ICT 活用の意義や理論について理解する。 (2) ICT を活用した学習指導や校務の実際と今後の在り方について理解する。 (3) 情報活用能力を育成する意義および育成方法を身につける。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	40	0	30	30	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)						30	30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)			40		30		70	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベルの1から3の全てを達成した上で、常に自らの課題を見つけ、その課題に積極的に取り組んでいくことができる。				1. 教育現場における ICT 活用の意義や理論について理解することができる。 2. ICT を活用した学習指導や校務の実際と今後の在り方について理解することができる。 3. 情報活用能力を育成する意義および育成方法を身につけることができる。 上記 1.~3.を全て達成することができる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	第1回:オリエンテーション・現代社会における ICT の役割と導入(テキスト1・2・3章)(太田)	講義	本時の復習・次回範囲の予習	90
2	第2回:教師の ICT 活用指導力と先端技術とデジタルコンテンツの活用(テキスト1・5・7・8・9章)(太田)	講義	本時の復習・次回範囲の予習	90
3	第3回:個別最適な学びと対話的な学びを深める ICT の活用と遠隔授業(テキスト 10・11・12 章)(外部講師、太田、塚本)	講義	本時の復習・次回範囲の予習	90
4	第4回:教育における ICT 活用の実践例(外部講師、太田、塚本)	講義	本時の復習・次回範囲の予習	90
5	第5回:生徒による ICT 活用(テキスト 15・16 章)(外部講師、太田、塚本)	講義	本時の復習・次回範囲の予習	90
6	第6回:特別支援・幼児教育における ICT 活用(テキスト6・13章)(塚本)	講義	本時の復習・次回範囲の予習	90
7	第7回:生徒の情報活用能力の育成(テキスト 17・18・19・20・21 章)(塚本)	講義	本時の復習・次回範囲の予習	90
8	第8回:校務の情報化とデータの活用(テキスト 14 章)、まとめ(塚本)	講義	本時の復習とこれまでの総復習	90
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日頃から教育に関するニュースや新聞記事に目を通し、教育の最先端知識の習得を心掛けておきましょう。			
テキスト	稲垣忠・佐藤和紀(編著), 2021 年『ICT 活用の理論と実践 DX 時代の教師をめざして』, 北大路書房. ISBN: 978-4-7628-3180-5 / 本体 2000 円+税			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中に適宜資料を配布する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業前に次時の範囲のテキストを読んで予習を行い、授業後には再度講義内容とテキストで振り返りを行ってください。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<p>[達成度評価に関するコメント]</p> <p>①レポート課題(40%)…期末課題レポート  ②レポート以外の提出物(30%)…毎回の授業の最後に提出する振り返りシート  ③その他(30%)…授業への参加・取り組み態度、発言の積極性  ※上記①～③を総合的に評価する。</p> <p>[課題に対するフィードバック方法]</p> <p>毎回の授業終了後に学生は振り返りシートを提出し、質問事項等がある場合については次回以降の授業にて全体または個別にフィードバックを行う。小テスト課題については、チェック後に後日フィードバックを行う。</p>			

